

航空學談話會記事

(前號の續き)

第百三十八回 大正十三年十一月廿四日 (於帝大工學部新會議室) (出席者 25 名)

講 演 (1) 「チユラルミン」板に就ての試験

(a) 常溫引延の程度と彈性の變化

(b) 壓延方向と彈性其他

菱 田 唯 藏 氏

(2) Dopes and Fabric

(J. J. of R. y. Aero. Soc. No. 161, May, 1924)

福 井 勇 藏 氏

(3) 「アルミニウム」合金の趨勢に就て

福 田 愼 一 氏

第百三十九回 大正十三年十二月一日 (於帝大工學部新會議室) (出席者 21 名)

講 演 (1) 工業材料としての「マグネシウム」輕合金

堀 口 貞 雄 氏

(2) 風の方向と速度とを同時に測る一方法

藤 井 隆 二 郎 氏

(3) Nystagmus の實驗に就て

増 田 惟 茂 氏

第百四十四回 大正十三年十二月十五日 (於帝大工學部新會議室) (出席者 37 名)

講 演 (1) 飛行艇底の受くる力

横 田 成 浩 氏

(2) Fan dynamometer の實驗 (第二回報告)

芳 井 正 夫 氏

(3) 氣流に直角に置かれたる板の抵抗

野 田 哲 夫 氏

(4) 流體摩擦抵抗の表面粗密度による一修正法

妹 澤 克 惟 氏

講演終了後航空機其他の活動寫眞ありたり

第百四十一回 大正十三年十二月廿二日 (於帝大工學部會議室) (出席者 56 名他に學生約二十名)

講 演 (1) 歸朝土産話

田 中 館 愛 橋 氏

(2) Über die metall-flugzeugen

ク ロ ー ド ド ル ニ エ ー 氏

講演終了後山上會議室に於て田中館博士の歸朝歓迎及びドルニエ氏歓迎晚餐會を開催せり

(以下次號)